

住民協ひろば

発行日 令和8年2月7日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 山崎 徳次郎

令和7年校区総合防災訓練特集号（その2）

住民協ひろば・令和8年2月号は、1月号に引き続き令和7年11月30日に実施された、久小校区総合防災訓練（校区避難所運営訓練＋市防災訓練）の特集号として下記の記事を連載します。

目次 12. 自由意見 12-6 避難所訓練に参加して 田中紀子（久木小学校校長）

10. 災害時の地域情報発信訓練 結果

前月発行の特集号中の（10. 地域情報発信（スマホによる発信）」の資料の数字の部分です。

11. 避難所で実施したアンケートのまとめ

前月発行の特集号の「11. アンケートのまとめ」の資料です。

12. 自由意見 12-6 避難所訓練に参加して 田中紀子（久木小学校校長）

11月30日（日）10時から、久木中学校を会場に『逗子市防災訓練・避難所運営訓練』が開催されました。今回は『避難所でのトイレ問題』がテーマでした。上水管や下水管に破損が生じた場合、各家庭でも水洗トイレは使用できなくなります。そのような状況下で、多くの人が集まる避難所ではどうなるのか、またどのように対応すべきなのかを考える内容でした。

こうした事態を想定し、わかりやすく表現した『トイレ寸劇』の後、マンホールトイレの内部を見せていただき、その仕組みや、初期の設営や操作は、必要な時に自分たちで行わなければならないことも学びました。トイレ

問題をさらに掘り下げていくと、小中学校が避難所となり、数日間生活する必要がある場合、学校の教育活動との両立をどのように図るのかという課題も考えなければなりません。

被災し、つらい思いを抱えながら避難所に集まることになると思いますが、市の支援がすぐに行き届くとは限りません。避難所は、避難者一人ひとりが主体となって支え合い、運営していく場所です。日頃から一人ひとりが「自分ごと」として備え、その意識を持つことの大切さを改めて考えさせられる訓練となりました。

10. 災害時の地域情報発信訓練 結果

前月発行の特集号中の（10. 地域情報発信（スマホによる発信）」の資料の数字の部分です。

・回答者総数⇒174

・地域別

久木	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目	9丁目
回答数	6	12	5	5	2	4	2	21	9
久木合計：64（注：合計の中で8丁目の21はハイランド地区）									
山の根	1丁目	2丁目	3丁目				桜山	沼間	その他
回答数	21	59	25				2	1	2
山の根合計：105							他地域合計：5		

以下質問項目↓（発災3日後を想定して、お答えください）

1. 世帯人数を教えてください。

世帯人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
回答数	25	22	40	25	10	2

2. 世帯に乳幼児、もしくは高齢者がいる場合はお答えください。3. 家族で安否確認が取れていますか？

乳幼児（0～3歳）		高齢者（75歳以上）	
1人	2人	1人	2人
2	1	29	24

取れている	取れていない
172	2

4. 現在の避難先はどこですか？

在宅避難をしている	163
避難所で生活している	5
在宅避難と避難所の半々で生活している	4
その他の場所に避難している（市外の親類宅や友人宅等）	2

5.（「在宅避難をしている」：163＋「在宅避難と避難所の半々で生活している」：4への質問。発災想定が難しい場合の参考状況⇒「あなたの住居に被害はなく、今後も在宅避難を続ける予定です。水道は使用できますが、電気とガスが使えません。」）

5-1. 在宅避難を続けることはできますか？

はい	いいえ	わからない
120	8	30

5-3. ご自宅の設備状況について教えてください。

	トイレ	風呂	冷暖房	寝室	冷蔵庫
利用可能	138	94	88	152	92
利用不可能	29	73	79	15	75

5-2. ライフラインについて教えてください。

	電気	ガス	水道
利用可能	98	91	139
利用不可能	69	76	28

6. 現在の避難先（在宅避難含む）で不足している物資を教えてください。※複数回答可能

飲料水	食料	おかゆ	ミルク（乳幼児）	携帯トイレ	生理用品	おむつ（乳幼児用）	おむつ（高齢者用）
100	103	23	2	60	6	1	8

災害時についてのアンケート（回答 28 件）

1. 日頃から災害時の避難行動について考えていますか？（単独世帯の方は避難先について考えていますか？）

考えている	考えていない
17	9

2. 非常備蓄品（非常食、飲料水等）は何日分備蓄していますか？

1日分	2日分	3日分	備蓄していない
3	6	17	2

3. 電気・ガス・水道が止まってしまった場合（家屋は無事想定）の避難先を教えてください。

在宅で避難生活をする予定	18
市外の親族、避難所に避難する予定	6 想定の避難所⇒久木小学校：5、その他：1
知人宅等	1
不明・わからない	3

4. 年代を教えてください

30代	40代	50代	60代	70代
1	2	6	10	9

5. この「災害時の地域情報発信訓練」についてどこで知りましたか？（複数回答可能）

防災訓練のチラシ	14
自主防災組織、自治会・町内会からのお知らせ	13
市ホームページ、広報誌等	1
LINE などの SNS	1
友人、知人から	1

6. 実際に大規模災害が発生した時、市に対して個人情報（氏名、住所、連絡先等）を入力し、情報発信することもあります。このことについて賛同されますか？

賛同する	12
どちらかといえば賛同する	11
どちらかといえば賛同しない	3
賛同しない	2

7. この訓練（災害時の地域情報発信訓練）の改善のためにご意見などあれば、こちらに記載ください。

①もう少し実践的な訓練必要だが、住民の関心度低く難しいか？

②そもそも、実際に災害が発生した場合、この手法は取れないと思います。久木中学校の訓練の時点で SoftBank からアクセスできなかった。東日本大震災の時は AU もアクセスできなかった事例があった記憶もあります。電気が止まれば wi-fi も使えない。それ以前に安否確認のサイトへの URL もわからない。行政サイドの自己満足、「やっています」という名目上の実績づくりのためにコストと手間をかけるのは勿体無

いと思います。

③3 日後を想定したアンケートの選択肢に対して説明を記入する欄がなく、どうしてその様な回答をしたのか正確に判定できないのではないかと感じました。具体的には水道しか使えない状態と定義されてましたが、選択肢では電気やガスの使用可否について問われていました。太陽発電や蓄電池のシステムを導入していれば可になりますが、その説明ができる状態にはなっていないため不完全な情報になってしまうと思います。

11. 避難所で実施したアンケートのまとめ

前月発行の特集号の「11. アンケートのまとめ」の資料です。

項目		男性	女性	合計
回答、者年齢	30代～以下		2	2
	40代	2	3	5

	50代	10	6	16
	60代	7	6	13
	70代	9	14	23
	80代	5	4	9
	合計	33	35	68
住まい	久木 8丁目を除く全域	11	7	18
	久木 8丁目		1	1
	山の根 全域	17	21	38
	桜山・沼間・返子	2	2	4
	その他	1		1

コメント(龍村)： アンケート回答者 68 名の年代別と地区別をまとめました。名簿記載者 112 名の内の 68 名の回答者です。 注：原資料は 住まいは丁目ごとの纏められていたが紙面の都合で集約。

《訓練の知らせを何で知ったか》

市掲示板	自治会掲示板	回覧板	口コミ	その他
3	21	28	0	22

コメント：言うまでもなく周知方法は自治会の掲示板と回覧板が有効です。その他には、自治会の役員であったり、班長

であったり、なにがしかの役割を担っている住民なので、計画の段階からすでに周知していたという住民の数が入っています。

《参加経験 初めてか、経験者かを聞いています。》

初めて	24
経験あり	41

コメント：何十年もし続けている避難所訓練ですが、毎年必ず初めて参加する住民がいます。継続は大切です。

《参加したプログラムの集計です。》

Web アンケート	安否確認訓練	マンホールトイレ	発電機・投光器	寸劇	無線機
42	32	38	6	50	2

コメント：プログラムの内、安否確認訓練は山の根自治会のみが実施しました。マンホールトイレの設置訓練のアンケート回答者は 38 人ですが、中学の設置現場の人数は 38 人よりはるかに多く、丁寧に見学することはできなかったようにおもわれます。マンホールトイレの設置訓練は多くの住民に体験する機会を何度もつくるのが大切と思われます。

*次からのアンケートは日ごろの防災意識を問うものです。

《被災時の家族間の行動、連絡方法を聞いています。》 《非常持ち出し袋の準備について聞いています。》

話し合っている	話し合っていない
---------	----------

準備している	準備していない
49	12

《水・食料・必要物資の備蓄の準備を聞いています。》 コメント： 備蓄の日数で多いのが 5 日分 次に 3～4 日分 多い家庭で 14 日分とあります。

備蓄している	備蓄していない
--------	---------

《津波の際の避難路、緊急避難場所が周知されているか聞いています。》

周知・確認している	周知・確認していない
54	12

《避難所生活での心配ごとを聞いています。》

自宅の状態	トイレ	暑さ寒さ体調	プライバシー	ゴミ処理	入浴	食料・飲料水
40	54	50	21	20	19	27

洗濯	病気・けが	感染症	ペット
10	29	6	7

コメント：自宅の状態とは避難所で生活している間の空き家になっている自宅の様子のことです。その他の心配事は多岐にわたります。

《自由記述》 本項は、本誌令和 8 年 1 月号の自由意見欄に掲載してあります。

令和7年12月度役員会

開催日時と場所：2025年12月6日13時～15時

出席者：役員：山崎徳次郎、石井達郎、鈴木為之、長嶋啓、新倉洋一、瓶子純一、河邊寛、大塚邦彦、森戸久朝、小林寿志、龍村敦子 役員外：高野毅、

久木会館

江渕真紀子、田倉由男 行政：堀田昌希/地域担当リーダー、佐藤大平、教育部部長、課長（途中退席）
社協：平山智也 以上20名

議題

① 久木小学校改築工事休止について：教育部部長佐藤さんと課長より、小学校工事中止にいたる経過報告と今後の展望について説明があった。この中止問題については市の説明並びに新聞などの記事から住民も周知の事実ではあるが、今後の展開について市は校舎の補修をすすめながら、児童生徒の減少傾向を見据え、近い将来の学校全体の統廃合を考えに入れて計画を練ること。早急にその計画のタイムテーブルを示せるようにすると発言があった。

② 拡大版久木朝市の報告：11月29日（土）PTAと通常朝市の拡大版朝市について龍村より報告があった。通常朝市メンバーは9店舗参加。通常朝市の世話人として出店者中村千乃さん（山の根自治会）にもお願いした。

③ 11月30日避難所訓練のふりかえり：〇30日訓練終了後、14時から準備委員会委員の振り返り会を開催、その時に出席議題を中心に今後の準備委員会のありかたを検討するという話に発展した。委員会には学校、市、住民が参加する組織であるから委員会には避難所に関わる関係者（ことに福祉部、社協）の出席を希望するなどの意見が出た。

〇地区防災拠点が体育館2階に位置したため、訓練としては見えにくかった。本当の災害時には久木会館が地区防災拠点となるが、訓練である場合は参加者の目に見える場所での活動でかまわないのではないかと。

〇マンホールトイレの設置と最終的な水を流すまでの工程は相当難しく、マンホールトイレの設置のためにはそれなりの訓練方法を考え、折に触れ設置訓練を継続する必要である。

〇Webアンケートの結果を聞いていない。準備委員会での発表を待つ。

〇減災部会提案の携帯トイレ購入にあたって、会館に保管する場所を指定してほしい。その場所によって準備する量を決定する。（注文するマーカー、数量はほぼ決定している）

④ 特別号「住民協ひろば」が配布されない地域があることが判明。山の根3-1あたり。他に未配達区域がないか調べる必要がある。

⑤ 毎月第3火曜13時から開かれる「連絡会」は必要だろうか？の意見が出された。12月の連絡会で話し合うことになった。

⑥ 社協からの報告：

〇マンホールトイレ設置訓練に参加し、大変難しい作業であることを認識した。

社協ボラセンとしてマンホールトイレ設置ボランティアなどなにがしかの手立てが必要かと考えた。

〇久小4年生の福祉教育、講師派遣のお礼

〇ふくししんぶん「さくら貝」の配布とお互いさまサポーターのヒアリングの結果は今後発表していく。

令和8年1月度役員会

開催日時と場所：2026年1月10日（土）

出席者：役員：山崎徳次郎、石井達郎、鈴木為之、長嶋啓、新倉洋一、鈴木友行、増子俊雄、河邊寛、大塚邦彦、小林寿志、龍村敦子

13時～15時 久木会館

役員外：田倉由男、高野毅、江渕真紀子

行政：堀田昌希、佐藤大平、

社協：平山智也 以上17名

議題

① 公共交通勉強会報告：1月6日開催の勉強会の報告。新たな進展はない。次回3月開催予定。

② 各部会事業の展開、フリートーク：

減災部会：森戸さん欠席のため各自治会町内会の防災・福祉の体制について自由に意見交換の時間をもった。

企画部会（石井部会長）：多くの方がたのしめる企画を考えていく。

会館運営：運営について会合があった。予約システムの導入など様々な話し合いができた。

③ 住民協ひろばの4月以降の編集、発行について：

長きにわたる「ひろば」編集の鈴木為之さん退任希望により今後の方針など詰めていく。鈴木友行さん、瓶子さんの協力は得られる。ホームページ開設の予算は確保してあるので計画を立てていく。

④ その他：1月からの避難所準備委員会の方針の概略。住民協で購入する携帯トイレ、市で購入した携帯トイレの久小校区分の保管について準備委員会での話あいが必要である。

1月23日（金）住民協連絡会が開催予定。テーマは各小学校区避難所訓練のふりかえりとこのことなので、参考のため参加できるとよい。